



平成 30 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 明治機械株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 中尾 俊哉
 (コード番号 6334 東証第二部)
 問い合わせ先 取締役経営管理部長 小林 敏敬
 (TEL. 03-5295-3511)

業務用マイクロ波解凍機の「東南アジア独占販売権締結」についてのお知らせ

当社では海外事業推進の第一弾として、平成 3 年の国内販売開始から 25 年以上、食品加工場等向けに納入実績のあるフェライト・マイクロウェーブ・テクノロジーズ社（以下「FMT 社」という。）製の業務用マイクロ波解凍機を東南アジア 4 カ国（タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア）で販売開始することとし、FMT 社と独占販売契約を締結しましたのでお知らせします。

1. 東南アジア市場へ解凍機の投入について

冷凍技術の発達により多彩で新鮮なおいしい食材を楽しむことができるようになり、東南アジアにおいても現地に食品工場を建設して加工する食材加工の需要が高まっております。当社では、この需要に対して、これまでの日本国内での解凍機販売のノウハウをもとに、今般、東南アジア市場向けに、牛肉加工用として業務用マイクロ波解凍機の販売から開始することとしました。

2. 業務用マイクロ波解凍機の性能

「マイクロ波解凍機」は、食材により異なる解凍温度を細かく設定でき、短時間に多量な解凍ができる点が特徴であります。とくに牛肉の解凍用途に適しているとされ、大きな牛一頭を、加工がしやすい約マイナス 4℃まで、数十秒から数分で解凍することができます。

◆『マイクロ波 解凍機』製品能力紹介（一例）

連続式 MIP12

マイクロ波出力	最大解凍能力	解凍能力（-17.8℃の冷凍品 100 kgあたりの解凍処理時間		
		赤身牛肉 85% (仕上り温度：-3.3℃)	鶏肉 (仕上り温度：-2.8℃)	りんご (仕上り温度：-6.1℃)
300 k w	15.4 トン/h	45 秒	56 秒	34 秒
225 k w	11.5 トン/h	59 秒	1 分 14 秒	45 秒
150 k w	7.7 トン/h	1 分 29 秒	1 分 51 秒	1 分 07 秒
75 k w	3.8 トン/h	2 分 57 秒	3 分 41 秒	2 分 11 秒

バッチ式 MIP10

マイクロ波出力	最大解凍能力	解凍能力（-17.8℃の冷凍品 100 kgあたりの解凍処理時間		
		赤身牛肉 85% (仕上り温度：-3.3℃)	鶏肉 (仕上り温度：-2.8℃)	りんご (仕上り温度：-6.1℃)
75 k w	136 kg/バッチ	4 分	5 分	3 分

3. 今後の見通し

FMT 社との契約締結に際しては、今後、現地ニーズに合わせた新たな機能・価格帯の製品を共同で開発することも合意しております。

当社は、東南アジア市場向け製品の販売を強化にあたっては、同地域に日本から進出しているパートナー企業などと連携してマーケティング・営業活動を展開していくこととしております。

海外事業は、解凍機販売を皮切りに、順次、製粉、飼料、産業機械の販売及びプラントエンジニアリング事業を強化してゆく方針で、3年後を目途に東南アジア市場向けを含む海外売上高 1 0 億円規模を見込んでおります。

なお、本件に係る平成 31 年 3 月期の業績への影響につきましては、詳細が判明次第改めて公表させていただきます。

備考：フェライト・マイクロウェーブ・テクノロジーズ社について

1948 年に、現在の航空機の運航に欠かせないレーダー（マイクロウェーブ）技術を開発したレイセオン社を前身とする米国企業で、同社が 1972 年に世界で初めて開発したマイクロ波を利用した解凍機を引き継ぎ販売しています。英文社名：Ferrite Microwave Technologies LLC、代表者：Peter Tibbetts、米国ニューハンプシャー州。

以 上

東南アジア市場向け製品の販売強化についての問い合わせ先：常務取締役海外担当 日根 年治
(TEL. 03-5295-3516)

(注意事項)

本お知らせの経営戦略、事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。